

2730地区の会長エレクト研修セミナー(PETS)が3月7・8の両日、延岡市のホテルで開かれ、参加して参りました。セミナーには地区内65クラブの会長エレクトが出席し、野中玄雄ガバナーエレクトや安満良明RI第3ゾーンコーディネーターをはじめ地区の各部門長などから2日間にわたって、みっちり研修を受けてきました。

まず、野中ガバナーエレクトからは、K.R.ラビンドラン次年度RI会長が提唱されている次年度のRIテーマ「世界へのプレゼントになろう」について、お話がありました。このテーマについてのラビンドラン次年度会長のコメントは菊地平研修リーダーが先の例会で分かりやすく紹介されていますので詳しくは述べませんが、要は、人は才能、知識、能力、努力、そして献身と熱意など、誰でも与えることのできる何かをもっているはずである。これらは「天からの授かりもの」であり、そのお返しをしましょうということなのです。

原文では「Be a Gift to the World」で、ギフトとなっています。英語では同じ贈り物でもプレゼントよりギフトの方が、格が上だそうですが、日本ではギフト券などの使われ方もあり、むしろプレゼントの方がふさわしいということになったそうです。

さて、このRIテーマを次年度の活動にどう生かしていくか、それにはまずテーマにある「世界」をどう想定するかが問題です。野中ガバナーエレクトからは、その世界は例えば職場であり、地域であり、家庭であってもいい。また、プレゼントも奉仕と換言してもよい、という説明がありました。

さらに、野中ガバナーエレクトは、RIテーマの実現に向け、その方向をより明確にするため「奉仕は力！活かそう例会」という2730地区のモットー(サブテーマ)を設定されました。その意味するところは、他者への奉仕(利他)が結局は自分自身への活力となり、発展をもたらすとの理念を「奉仕の力」と表現したものであり、「活かそう例会」は活気ある例会の実現を目指すもので、喜んで出席したくなるような楽しい例会を工夫していこうということなのです。

安満第3ゾーンコーディネーターからは、会員基盤の充実と増強、人道的支援の重点化と増加、ロータリーの認知度の向上などについて、お話がありました。特に、会員増強については新会員候補の推薦と退会防止を同時に進めることが大切だということでした。また、クラブとして戦略的な長期計画を立て、目標を達成するためには会長と直前会長、会長エレクトの連携が重要である、と強調されました。

研修2日目、我がEクラブの特別代表であるパストガバナー、長峯基次年度地区研修リーダーには講評の中でEクラブのPRをしていただき、特にEクラブでのメイクアップのやり方について「各クラブで若い人をリーダーとしてEクラブの活用法を考える取り組みをしてほしい」と、提案されました。

なお、ラビンドラン次年度RI会長については「ロータリーの友」3月号に特集が組まれています。また、ロータリー特別月間が次年度から大きく変更されますが、「ロータリーの友」2月号に紹介されていますので、お目通しを願います。

これから次年度に向けての準備が始まります。5月24日には延岡市で地区研修協議会が開かれます。各委員長をはじめ、できるだけ多くの会員にご参加いただければと思います。よろしくお願いいたします。